公共交通の取り組みは、山陽新聞にも取り上げられました！

JR線の利便性向上

瀬戸内市モデルに増便を

地域から

14日のJR春のダイヤ改正で、赤穂線の岡山－西大寺間を走る列車2往復を岡山－長船間に延ばした運行が始まった。延長区間の3駅を抱える瀬戸内市の利用者にとっては増便となる。

ここ数年、コロナ禍もあって岡山県内の鉄道は多くの地域と同様に、減便や運行区間の短縮が続いてきた。利便性の低下が利用減を招き、さらなる減便などにつながる〝負の連鎖〟が現実味を帯びていた。暮らしへの影響が出ていた中で、わずか2往復とはいえマイナスのベクトルが反転したことは画期的だ。

背景には、瀬戸内市が利用促進に向けた環境を整備していることがあろう。

赤穂線に乗って市中心部の邑久駅を降りると、列車の乗客が駅前広場にできたバス停から市営バスに次々乗り込んだ。到着したバスからは乗客が降りて改札に向かった。民間が運行していたバスは市営にした際に運賃を100円均一と割安にして利用者が年々増加傾向にある。

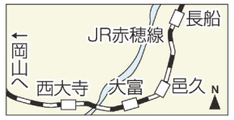
市は近年、長船、邑久、大富の市内3駅の駅前広場を全面改修。バス停や駐輪・駐車場の整備、汚いと不評だったトイレの刷新などを進め、現在最終段階の工事が進む。駅からの2次交通との接続改善を実感する。

さらに4月からは市営バスを増便や路線延長するほか、長船駅での乗り換えのための駐車場を拡張。名刀・山鳥毛（国宝）の展示に合わせ休日などに市内の備前長船刀剣博物館への無料シャトルバス運行を今月始め、夏からは大規模駄菓子店も含めて巡る定期観光バスとして運行する。こうしたJRの利用促進にもなる政策を強める方針が、増便につながった。

市、JR岡山支社ともに今回を第一歩としてさらなる増便など利用増を図る意向だ。市は今月策定の「地域公共交通計画」（2026～30年度）で、基本方針を「公共交通が支える 人が集うまち せとうち」とし、「使いやすさ」「にぎわい」「存続」をキーワードに据えた。公共交通利用者総数を12％増とする明確な数値目標を掲げた。バスやJRの充実が移住・定住などにつながるとしている。

重要なのは、関係機関や住民も含む地域とJRが連携し、まちづくりとして地域振興に取り組むことだ。路線が充実している岡山県は幹線としての鉄道を便利にして支線はバスなどによるネットワークをつくり、暮らしの質を高めていくことが有効となる。瀬戸内市をモデルに他の自治体に広げたい。鉄道は市町域にまたがるため、県の果たす役割も重要になる。

社説



2026.3.26

（令和８年３月26日付　山陽新聞）

JR赤穂線増便歓迎セレモニー

整備された邑久駅前

市営バスの一部路線は大富駅・長船駅にも接続していて、通勤・通学などに便利！

「バス予報」なら、市営バスが今どこにいるのかすぐに分かるよ！

瀬戸内市営バス運賃

市営バス全路線共通 **一乗車 100円**

お得な回数券・定期券も販売中

- 中学生以下は無料
- お支払いは現金または回数券のみです。
- お得な回数券もあります。（1,000円=11枚綴り）回数券は市営バス車内でお求めいただけます。

1枚の定期券で市営バスのすべての路線をご利用いただける、お得なフリー乗車定期券を販売しています。

1ヵ月	2,000円	※1往復(200円)×10日分 相当
3ヵ月	5,700円	※1ヵ月定期額×3(ヵ月)×0.95(5%引)
6ヵ月	10,800円	※1ヵ月定期額×6(ヵ月)×0.9(10%引)

問 地域振興推進課　☎０８６９-２２-１０３１

進化する 公共交通

ココがスゴイぞ 瀬戸内市！

令和８年３月14日から、赤穂線で昼の時間帯に運行している「岡山～西大寺駅間」の列車が１日２往復、長船駅まで延伸増便されました。これは、市内の交通アクセスをより充実させるため、市営バスの増便や駅前駐車場の増設など鉄道利用者を増やす取り組みを進めてきた努力が実を結んだものです。

この他にも、下記のとおり市民の皆さんの利便性を向上させたり、市内観光地へのアクセスを改善させたりする新しい取り組みを進めています。移動手段が増え、通学・通勤・買い物がもっと便利に、もっと住みやすくなります。瀬戸内市の公共交通の取り組みは、どんどん進化しています！

- JR長船駅に南側駐車場を増設！
- 市内３駅の駅前トイレや駐輪場ロータリーなどを整備！
- 岡山～西大寺駅間の列車が１日２往復、長船駅まで延伸増便！
- 令和８年８月から観光定期バスが運行開始！
- 市営バス（虫明・長島愛生園線）４往復増便！
- 市営バス（牛窓-邑久駅線）バス停を13カ所増設！
- 市営バスにキャッシュレス決済機を導入予定！交通系ICカードが使用可能に
- 市営バスすべての路線で１乗車100円！

市営バス乗降客数　令和８年度４月実績

前年比123％へ増加！